

# 薬の伝言板～薬の種類～



No. 263 2019年10月  
丸子中央病院 薬局

薬の種類には様々なものがあります。今回は代表的な薬の種類や名前の由来についてお話ししたいと思います。



## 薬の種類

### ●錠剤・・・成分と添加物を混合して、圧縮して固めた固形状の薬

- ◇ 口腔内崩壊錠・・・口の中で唾液や少量の水で速やかに溶けるように作られた薬
- ◇ チュアブル錠・・・噛み砕いて服用する薬
- ◇ 腸溶錠・・・胃ではなく、腸で溶けるように作られた薬

嚙んだり砕いたりすると、薬の効果がなくなったり胃が痛くなったりすることがあります。

- ◇ 徐放錠・・・成分がゆっくりと溶け出し、効果が長く続くように作られた薬

嚙んだり砕いたりすると、短時間で薬の効果がでて、血液中の薬の濃度が急激に上昇し、副作用があらわれる危険性があります。

- ◇ 舌下錠・・・舌の下に入れて溶かして使用する薬

そのまま口の粘膜から吸収され、効果が早いことが特徴です。飲み込んでしまうと、効果が出なかったりするので注意してください。



### ●カプセル・・・ゼラチンなどで作ったカプセルに充填された薬。顆粒や粉薬などを詰めた硬いカプセル剤と液体などを詰めた軟カプセルなどがあります。

### ●粉薬

- ◇ 散剤・・・粉末状の薬
- ◇ 顆粒剤・・・散剤より粒が大きく、においや苦味を抑えたり、溶けやすくするなどの加工がされた薬
- ◇ ドライシロップ剤・・・飲む前に水などに溶かして使用する薬

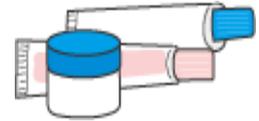


### ●水剤・・・成分を精製水などに溶かして作られた薬。

糖類や甘味料を加えて飲みやすくしたものもあります。



## ●外用薬・・・皮膚・肛門・のどなどの粘膜や目に使用する薬



◇ **軟膏・クリーム剤**・・・皮膚の表面に塗る薬。患部の状態や使用感で使い分けます。

**軟膏**：皮膚の保護作用があり、刺激が少ないので、傷やじゅくじゅくしたところにも塗ることができます。べたつき感があります。

**クリーム剤**：軟膏と比べて伸びがよく、べたつきません。皮膚への浸透性が良い反面、皮膚への刺激性があるので、傷やじゅくじゅくしたところは避けましょう。

◇ **貼付剤**・・・皮膚に貼って使う薬。

貼った局所に効果を発揮させるものや、薬の成分を皮膚から浸透させて、全身に効果を発揮するものがあります。

**パップ剤**：水分が多く含まれていて肌への刺激は少なく、若干の厚みがあります。冷却効果があるため、打ち身やねん挫など炎症を抑えるために使用することが多いです。

**テープ剤**：剥がれにくくなっており、患部への薬剤の浸透性や吸収性が高くなっています。伸縮性があるため、膝や腰・関節などよく動かす部位の痛みを抑える場合に効果的です。

## 名前の由来

今飲んでる薬の名前にアルファベットがついている薬はありませんか？そのアルファベットは薬の特徴を表しているものが多いです。

### ・ 剤形を表しているもの

「OD」、「D」：口腔内崩壊錠

例) タケプロン OD 錠・ガスターD 錠 など

「SR」、「L」、「CR」：徐放錠

例) ベザトール SR 錠・アダラート L 錠・アダラート CR 錠など



### ・ 有効成分名に由来のあるもの

例) リンデロン V 軟膏・リンデロン VG 軟膏 など

「V」…有効成分のベタメタゾンの頭文字、「G」…有効成分のゲンタマイシンの頭文字

この他にも、薬にはたくさんの種類があります。薬の名前に何にもついていないけれど、これらの特徴をもつものもあります。薬が大きくて飲みにくい場合でも、噛んだり、つぶしたりせず、まずは医師、薬剤師に相談してみてください。

